

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		担当課		生涯学習課		(3) 指標の推移																		
						2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度													
松山体育施設管理事業		担当係		松山分室教育係		活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)										
		予算科目		会	款	項	目	備考	(実績)	(実績)	(実績)													
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	1	10	6	2		ア	管理体育施設数	箇所	2	2	2	2	2								
(個別目標)	2	2	多様な志を育むまち	イ		主な費目		需用費、役員費、委託料、工事請負費																
(施策)	3	3	スポーツ活動の推進	イ		対象		市民	成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)								
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	イ		事業期間		年度～年度 ( 年間)	ア	施設利用者数 (体育館・多目的グラウンド・陸上競技場等)	人	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000								
(施策)	3	3	公共施設最適化プロジェクト	イ					イ	施設利用者数 (プール)	人	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価															
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価															
年間トータルコスト	事業費	千円							有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズ</li> <li>事業の効果</li> <li>政策との整合性</li> <li>事業を廃止の影響</li> <li>類似事業との連携</li> <li>公平性</li> </ul>														
	国県支出金	千円																						
	その他特定財源	千円	2,014	33,330	1,693	37,408	1,774	1,774																
	一般財源	千円	20,708	23,492	21,448	22,199	23,426	23,426																
	事業費計 (A)	千円	22,722	56,822	23,141	59,607	25,200	25,200																
	所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業効果向上</li> <li>事業費削減</li> <li>事務の効率化</li> <li>費用対効果</li> <li>財政負担の必要性</li> <li>関係者との連携</li> </ul>														
	人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600																
	(A) + (B)	千円	28,322	62,422	28,741	65,207	30,800	30,800																
(2) 事業概要																	達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値目標</li> <li>目指す状況</li> <li>実現性</li> <li>情勢・環境の変化</li> <li>事業期間</li> </ul>						
事業目的	体育施設が適正に管理され、市民が安心して利用でき、体力向上・健康増進や心身の健全な発展につながる。																							
事業内容	松山体育施設 (城山総合公園、尾野見地区運動広場) の管理を行う事業である。																							
開始経緯	昭和62年に城山体育館、昭和63年に多目的グラウンド等が整備され、窓口業務等は一部委託を行い管理を行ってきたが、H19年度から指定管理者による管理に移行した。その後、新規に増設したテニスコート3面を供用開始 (H29年4月から) するなど管理施設の増加や既存施設の老朽化に伴う維持補修など管理の多様化が必要となってきている。また、尾野見地区運動広場も直営にて環境美化や維持補修などの管理に努めている。																							
実施状況	城山総合公園の運動施設は、H19年度から指定管理者による管理を行っているが、各施設の老朽化に伴い修繕等必要な箇所が増加している。R5年度においては、プール機械室循環ポンプ取替修繕、プール管理棟横トイレ洋式化修繕及びプールサイド通路床修繕を実施する。また、経年劣化が著しく使用禁止中のテニスコート (3面) の人工芝改修工事を																							
成果	城山総合公園の運動施設は、指定管理者制度になって以降、市民からの利用に関する苦情等は以前よりも減少してきており、各施設における適正な維持管理が図られている。テニスコート人工芝改修工事やプール管理棟横トイレ、プール施設の整備を行うことにより、安全で快適な運動施設の利用が期待できる。							改革改善案	拡充	現状維持	改善	○ 効率化	廃止終了											
課題	施設の老朽化により早期に修繕を要する箇所が増えてきている。							事業の効率性改善のため、施設のインターネット予約システムの導入や利用料金の見直し、利用料金制の導入の検討を図る。																

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志市やっちくふれあいセンター管理運営事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	松山分室教育係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりアライ (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	開館の日数	日	308 296	308 308	308 308	308 308		
(個別目標)	3	文化を守り・育み・つなげるまち	主な費目	需用費(修繕料)、役務費、委託料、工事請負費				イ										
(施策)	1	文化芸術活動の推進と文化事業の充実	対象	市民				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	H9 年度～ 年度 ( 年間)				ア	延べ利用者数	人	15,000 8,925	15,000 8,147	15,000 9,386	15,000	15,000		
(施策)	3	公共施設最適化プロジェクト						イ										
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価							
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円						有効性 評価	施設の適正な維持管理及び運営を行うことにより、利用者が快適に利用でき文化芸術への志向が高まり市民発表の機会を提供できる。市民の文化活動の拠点施設であり、また保健機能施設も備えており廃止・停止の方向性は考えにくい。類似施設として志布志市文化会館があるが、施設規模、周辺環境に大きな違いがあるため統廃合は難しい。 施設条例・管理規則に基づき利用料を徴収しており公平・公正である。								
	財源内訳	その他特定財源	千円	517	24,222	8,016	1,636	1,600								1,600		
	一般財源	千円	25,478	22,902	21,732	22,815	22,900	22,900										
	事業費計 (A)	千円	25,995	47,124	29,748	24,451	24,500	24,500										
	所要人員 (年間)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000										
	人件費概算 (B)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600										
(A) + (B)	千円	31,595	52,724	35,348	30,051	30,100	30,100											
(2) 事業概要																		
事業目的	文化施設が適正に管理され、市民が不自由なく利用でき、文化芸術への志向が高まり市民生活水準の向上が図れる。																	
事業内容	ホール及び各室の利用にあたり、設置目的に基づき効率的・効果的に管理運営を行うため指定管理者へ適正な管理運営を委任する。																	
開始経緯	H18年9月から地方自治法の改正に伴う管理委託制度の廃止により指定管理者制度へ移行した。その後、指定管理者による施設の管理運営が行われているが、H9年の建設以来、四半世紀が経過して施設内各箇所での老朽化による修繕・補修の必要性が増加してきている。																	
実施状況	H18年9月から指定管理者制度へ移行し管理運営を委託しているが、施設の老朽化により修繕すべき箇所が多くなり、費用も大きくなっている。 R5年度においては、非常放送設備取替修繕や各室系統空調機修繕を実施する。																	
成果	指定管理者の運営実績や維持管理も適正であり高い評価を得ている。自主文化事業への取り組みも好評で利用者の増加にも繋がっている。 各種設備の修繕等により利用者の安全で快適な施設利用が期待できる。																	
課題	建築後四半世紀が経過して施設の老朽化がすすみ、修繕を要する箇所が増えている。また、係る費用も増大である。																	
	改革改善案		建築後四半世紀が経過し施設の老朽化により改修の時期がきているため、必要性・緊急性を鑑みて計画的な補修工事、修繕等を行うことにより、トラブルなく市民への快適で有効な利用が図られる。															
	拡充	現状維持	○ 改善	効率化	廃止終了													